

釧路管内「防災教育マップ」

令和4年3月発行：北海道教育庁釧路教育局 釧路市浦見2丁目1番1号 0154-43-9283

このマップは、釧路管内の児童生徒等が災害等から身を守り安全に行動することができるよう、防災教育に係る体験的な学習を実施している関係機関等についてまとめたものです。各学校等において積極的に活用願います。

<釧路管内全域>

○ 釧路総合振興局

(担当窓口：地域創生部地域政策課防災係 電話：0154-43-9144) **事例3**

- ◇ 講師派遣
 - ・避難所運営ゲーム Do はぐ（以下、「Do はぐ」）の実施（避難所運営の疑似体験）
 - ・防災講話（災害の事象、被害の様相、災害への備えと適切な行動等）
 - ◇ 物品貸出
 - ・段ボールベッド、Do はぐ、北海 Do 防災かるた、ハイゼックス等
- ※原則、市町村を通じて依頼すること

○ 陸上自衛隊第27普通科連隊

(担当窓口：広報班 電話：0154-40-2011)

- ◇ 講師派遣
 - ・人命救助セットを用いた体験活動
- ※炊き出しを含む防災訓練を実施する等予算措置が必要な場合は、原則、市町村を通じて依頼すること
- ◇ 各種資料展示、体験活動
 - ・災害派遣に係る車両展示、説明
 - ・駐屯地や駐屯地内にある資料館の見学

○ 釧路地方気象台

(担当窓口：防災管理官グループ 電話：0154-31-5146)

- ◇ 講師派遣
 - ・気象、地震、火山、津波等に係る説明 **事例2**
 - ・津波発生装置等を用いた演示実験 **事例7**
 - （例：津波のメカニズム等の説明）
 - ・気象庁ワークショップの開催

○ 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

(担当窓口：広報官 電話：0154-24-7354) **事例8**

- ◇ 講師派遣
 - ・水害から命を守る行動等に係る説明
- ※釧路開発建設部 HP の出前講座一覧表を参照

○ 北海道警察

(担当窓口：学校所在地を管轄する警察署)

- ◇ 講師派遣
 - ・避難訓練時の誘導に係る説明

○ 釧路市民防災センター（電話：0154-23-0425）

- ◇ 各種資料展示、体験活動
- ・防災情報（画像やDVDの視聴）、ミニ消防車、ミニ救急車、子ども用救助服、防火衣等の展示
- ・地震体験、煙体験、応急救護学習体験、119番通報体験、初期消火体験、車両見学、通信指令室の見学、防災マイ・まっぷシステムの見学

○ 釧路市消防本部

(担当窓口：予防課予防広報担当 電話：0154-23-0426)

- ◇ 講師派遣
 - ・避難訓練時の講話等、各種出前講座の実施
 - ・煙体験、車両見学
- ※学校所在地を管轄する消防署に依頼すること

○ 釧路市社会福祉協議会

(担当窓口：釧路市ボランティアセンター 電話：0154-24-1648) **事例7**

- ◇ 講師派遣
 - ・レスキューキッチンを活用した避難場所での調理実習
 - ・釧路市防災士ネットワークと連携した出前授業等

○ 北海道教育大学釧路校

(担当窓口：境 智洋 教授 電話：0154-44-3353)

- ◇ 講師派遣
 - ・移動式津波実験装置を用いた防災出前授業（地震・津波を想定した授業）
 - ・学生による寸劇を交えた防災出前授業（小学校低・中学年向け）
 - ・火災噴火降灰実験装置を用いた防災出前授業（雌阿寒岳の噴火を想定）
- ◇ 物品貸出
 - ・移動式津波実験装置、噴火降灰実験装置等

○ 日本赤十字社北海道支部

(担当窓口：ボランティア・青少年係 電話：011-231-7126)

- ◇ 講師派遣
 - ・防災教育プログラム（災害エスノグラフィーを活用した災害の追体験等）
 - ・段ボールベッド組立体験 **事例6**
 - ・災害用備蓄食料の実食体験等
- ※講師派遣については、青少年赤十字加盟校の有無により経費負担有り
- ◇ 物品貸出
 - ・青少年赤十字防災プログラム「まもるいのちひろめるぼうさい」

○ 鶴居村役場

(担当窓口：総務課地域防災係 電話：0154-64-2111) **事例1**

- ◇ 講師派遣
 - ・備蓄食料の実食体験
 - ・避難所設営体験（段ボールベッドや避難所用パーティション、簡易トイレ等の組立）
 - ・防災〇×クイズによる防災知識に係る説明
- ◇ 物品貸出
 - ・段ボールベッド、避難所用パーティション、簡易トイレ、Do はぐ
- ◇ 物品提供
 - ・災害用備蓄食料

○ 弟子屈町

○ 弟子屈町役場

(担当窓口：総務課防災情報係 電話：015-482-2191)

- ◇ 講師派遣
 - ・避難所設営体験（段ボールベッドの組立）
- ◇ 物品貸出
 - ・段ボールベッド、Do はぐ、北海 Do 防災かるた、災害映像集 DVD、簡易トイレ等
- ◇ 物品提供
 - ・災害用備蓄食料

○ 標茶町役場

(担当窓口：総務課交通防災係 電話：015-485-2111) **事例3**

- ◇ 講師派遣
 - ・標茶町における過去の水害についての説明 **事例4**
 - ・災害用備蓄食料の実食体験 **事例8**
- ◇ 物品貸出
 - ・段ボールベッド、Do はぐ、北海 Do 防災かるた、ワンタッチテント等
- ◇ 物品提供
 - ・災害用備蓄食料

○ 白糠町役場

(担当窓口：地域防災課地域防災係 電話：01547-2-2171)

- ◇ 講師派遣
 - ・避難所設営体験（避難所生活、段ボールパーティション、段ボールベッドの組立）
 - ・Do はぐ
 - ・避難所給食訓練
 - ・災害時救急応急処置体験（消防救急救命士を派遣）
 - ・災害シミュレーション動画の視聴
- ◇ 物品貸出
 - ・段ボールベッド、段ボールパーティション、Do はぐ、北海 Do 防災かるた、ぼうさいカードゲーム等
- ◇ 物品提供
 - ・災害用備蓄食料

○ 釧路市

○ 釧路町役場

(担当窓口：防災安全課防災対策係 電話：0154-62-2118) **事例5**

- ◇ 講師派遣
 - ・地震及び津波発生パターンに係る説明
 - ・津波ハザードマップ（各地区の浸水深や避難方法）に係る説明
 - ・北海 Do 防災かるたを使用した自然災害リスクについての学習
 - ・避難所設営体験（災害用備蓄食料や非常持出袋の説明、段ボールベッドの組立）
 - ・災害 DVD 鑑賞（ほっかいどう防災教育 DVD）
 - ・災害図上訓練 DIG（地図を使いながら、災害や防災についての演習）

○ 標茶町

○ 浜中町

○ 浜中町役場

(担当窓口：防災対策室防災係 電話：0153-62-2111)

- ◇ 講師派遣
 - ・自然災害（地震・津波・台風・大雨・大雪）から身を守る取組に係る説明
 - ・Do はぐ
 - ・災害図上訓練 DIG（地図を使いながら、災害や防災についての演習）
- ◇ 物品貸出
 - ・段ボールベッド、簡易トイレ、津波防災マップ、北海 Do 防災かるた、津波災害の各種記録等

○ 釧路市

○ 釧路市役所

(担当窓口：学校教育部教育支援課学校指導担当 電話：0154-23-5189)

- ◇ 講師派遣
 - ・避難所設営体験（段ボールベッドの組立等）
 - ・災害用備蓄食料の実食体験
- ◇ 物品貸出
 - ・段ボールベッド、Do はぐ、災害映像用 DVD、煙発生装置
- ◇ 物品提供
 - ・災害用備蓄食料 ※時期によって提供不可の場合有り

○ 厚岸町役場

(担当窓口：危機対策室危機対策係 電話：0153-52-3131)

- ◇ 講師派遣
 - ・避難所設営体験（段ボールベッド、テントの組立）
 - ・備蓄品や備蓄食料の紹介
 - ・津波シミュレーション動画の視聴
 - ・Do はぐ
 - ・災害図上訓練 DIG（地図を使いながら、災害や防災についての演習）

鶴居村立幌呂中学校

事例1

避難所運営ゲームDo はぐを活用した避難所運営体験

【取組の概要】

- ・ 鶴居消防署職員を講師として全校生徒で火災に対する避難訓練を実施した。
- ・ 全校生徒を4グループに分け、鶴居村役場から借用したDo はぐを活用し、避難所運営ゲームを実施した。
- ・ 保護者に参観を呼びかけた。



【成果】 生徒アンケートより

- ・ 避難所を運営することがこんなにも大変だとは思っていなかったのので、災害が起きたときに対応してくださる方々に感謝をしなければいけないと思った。

釧路市立芦野小学校

事例2

Web会議システム（Zoom）を活用した防災に係る講話

【取組の概要】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、Web会議システム（Zoom）を活用し、釧路地方気象台職員を講師として、第5、6学年で防災に係る講話を実施した。
- ・ 第5学年は地震や津波、第6学年は台風について学習した。



【成果】 児童アンケートより

- ・ 地震や津波等の自然災害から身を守るためには、危険箇所や避難場所をあらかじめ確認しておくとともに、日頃の備えが大切だということが分かった。

標茶町立中茶安別小中学校

事例3

ハイゼックスを活用した調理実習

【取組の概要】

- ・ 釧路総合振興局と標茶町役場からハイゼックスや災害用備蓄食料の提供を受け、小学校第3～6学年で、防災食の調理実習を実施した。
- ・ 保護者に参観を呼びかけた。



【成果】 児童アンケートより

- ・ 災害が起きたときには、教わった作り方で防災食を作り、災害の時こそしっかりと栄養のバランスの取れた食事を摂り、自分の体調管理をしたいと思った。

標茶町立中茶安別小中学校

事例4

避難所運営ゲームDo はぐを活用した避難所運営と設営体験

【取組の概要】

- ・ 釧路総合振興局職員を講師として、釧路総合振興局から借用したDo はぐを活用し、中学生が避難所運営ゲームを実施した。
- ・ また、標茶町役場から借用した段ボールベッドを活用し、中学生が避難所設営体験を実施した。
- ・ 保護者に参観を呼びかけた。



【成果】 生徒アンケートより

- ・ Do はぐでは、避難所スタッフの大変さを知ることができたので、災害が起きた時には、私たちが少しでもスタッフの役に立てるように行動したいと思った。

釧路町立別保小学校

事例5

役場・消防と連携した防災に係る講話と消火体験

【取組の概要】

- ・第1、2学年は、釧路町役場職員を講師として、地震や津波等の災害について学習した。
- ・第3学年は、釧路消防署職員による防災講話を実施した。
- ・第4学年は、釧路町役場職員、釧路消防署職員と連携し、消火体験を実施した。
- ・第5、6学年は、釧路町役場職員の指導により、段ボールベッドの組立体験を実施した。



【成果】 児童アンケートより

- ・段ボールベッドは簡単に組み立てることができたので、災害が起きた時には、自分で組み立てたいと思った。

北海道阿寒高等学校

事例7

レスキューキッチンを活用した調理実習

【取組の概要】

- ・釧路地方気象台職員を講師として、全学年で避難訓練と防災に係る講話を実施した。
- ・社会福祉協議会職員を講師として、レスキューキッチンを活用し、全学年が避難場所での調理を想定した調理実習を実施した。



【成果】 生徒アンケートより

- ・アルファ米による食事は、作り方が簡単で、普段食べているお米と変わらずおいしく、避難時にとても助かる非常食だと思った。災害に備え、家庭で防災グッズを揃えておくべきだと思った。

北海道弟子屈高等学校

事例6

日本赤十字社と連携した防災に係る協議・演習

【取組の概要】

- ・第1、2学年は、日本赤十字社職員を講師として、災害時の人の心の動きや災害の種類について学習し、災害の備えについてグループ協議を実施した。
- ・第3学年は、日本赤十字社職員を講師として、災害エスノグラフィを活用し、災害を追体験した。



【成果】 生徒アンケートより

- ・学習したことを生かして、自分自身や周りの人を守れるように、防災に取り組んでいきたいと思った。

北海道標茶高等学校

事例8

北海道開発局と連携したマイ・タイムラインの作成

【取組の概要】

- ・標茶町役場職員を講師として、全学年で避難訓練と釧路川の水害に係る講話を実施した。
- ・第1、3学年は、北海道開発局職員を講師として、水害時の行動を想定し、個人の防災行動計画であるマイ・タイムラインを作成した。



【成果】 生徒アンケートより

- ・災害が起きる前から起きた後のことまで考えることができた。災害時に自分の命を守り、周りの人を助けるイメージをもつことができた。今後もこのような研修に参加したいと思った。